

販売店様用資料

7
回分



12
回分



排卵日予測検査薬

ドゥーテスト[®]LHⅡ

第1類医薬品 一般用黄体形成ホルモンキット

- ・反応系に關与する成分：
抗体形成ホルモン・モノクローナル抗体(マウス) 0.49 μ g
金コロイド標識抗体形成ホルモン・モノクローナル抗体(マウス) 3.68 μ g
抗マウスIgG・ポリクローナル抗体(ウサギ) 0.49 μ g
- ・使用目的：尿中の黄体形成ホルモン(LH)の検出(排卵日予測の補助)

この検査薬で排卵日がわかるしくみ

黄体形成ホルモン(LH)は、普段から少量分泌されているホルモンですが、卵子が成熟した頃、大量分泌がおこり(LHサージ)、それが引き金となってLHサージの約40時間以内に排卵がおきるとわれています。本品は、このLHを検出し、LHサージをとらえるための検査薬です。

検査方法

- ①次回生理(月経)開始予定日の17日前から検査を開始してください。
- ②検査開始日から、1日1回、毎日ほぼ同じ時間帯に検査をしてください。

(過去に検査をしてLHサージがうまく確認できなかった場合や、今回検査をしたところ陽性が陰性かの判定に迷う場合などには、1日2回検査を行うことで、よりLHサージをとらえやすくなります。)

検査時期に関する注意

- 1日1回検査をする場合：1日1回**毎日ほぼ同じ時間帯に検査してください。**
1日2回検査をする場合：1日2回(例えば朝夕)検査をしてください。**毎日ほぼ同じ時間帯に検査してください。**
- 生理(月経)周期が不規則な方は最近の2～3周期の中で一番短かった周期を次回生理(月経)開始予定日を決める目安にしてください。

判定方法

- ①尿を2秒間直接かける。※5秒以上かけないでください。

紙コップ等を使用する時は、乾いた清潔なものを用い、採尿部全体が浸るように2秒つけてください。
※5秒以上つけないでください。

- ②5分待つ
- ③判定

尿量確認ラインがきちんとでているか確認してください。
(尿量確認ラインがでていない場合は、正しく検査が行われていない可能性がありますので、再検査してください。)

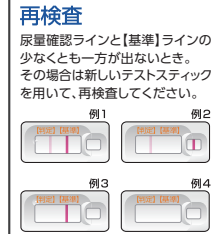
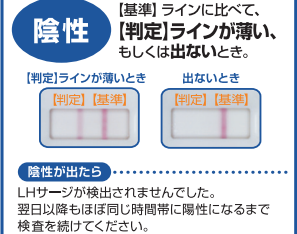
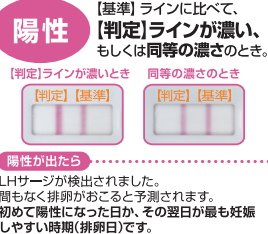


- 尿量確認ラインがきちんとでているか確認してください。

尿量確認ラインがでていない場合は、正しく検査が行われていない可能性がありますので、再検査してください。

- 判定窓の判定ラインと基準ラインの濃さを比べて陽性・陰性を判定してください。

初めて陽性になったときが、LHサージが検出されたということであり、間もなく排卵がおこるといえるしです。



判定に関する注意

①検査初日から陽性になった場合

既に排卵された可能性があります。妊娠を望む場合は、できるだけ早く性交することで、妊娠の可能性が高まります。また、陰性に変わることが確認できるまで検査を続けてください。(確認できない場合は、③を見てください。)

②検査期間中、陰性が続く場合

早期に医師、薬剤師に相談してください。

通常、排卵期に、本品を使用すると陽性となりますが、女性の内分泌的背景、例えば不規則な生理(月経)周期、短期LHサージ(12時間以内)などの原因で、まれに陽性とならないことがあります。

③検査期間中、陽性が続く場合

早期に医師の診療を受けてください。

妊娠、分娩後、流産後、胎状奇胎・絨毛癌等の絨毛性疾患、人工妊娠中絶後、あるいは不妊治療のための薬剤投与、内分泌障害、閉経期などでは、排卵と無関係に、陽性が続く場合があります。

④検査をし、その都度陽性を確認した上で適切な時期に性交しても6周期以上妊娠しない場合

妊娠しにくい原因は排卵に関する問題だけではありません。できればパートナーと一緒に医師に相談してください。ただし30歳代後半以上の方、結婚後妊娠できない期間が長い方、早期の妊娠をご希望の方は早めに受診することをお勧めします。

適正使用確認事項（お客様の適正使用の観点から情報提供が必要な項目です。）

1. 避妊目的では使用できません。

本検査薬は、避妊目的に設計されておらず、検査結果が陰性であっても確実に避妊できるものではないので、避妊の目的で用いてはいけません。

2. 次の人は使用前に医師に相談してください。

- ① 不妊治療を受けている人
- ② 通常の性交を継続的に行っても1年以上妊娠しない人
- ③ 生理(月経)周期が極端に不順又は経血量が異常など月経異常がある人

3. 検査期間中、陰性が続きLHサージが確認できない場合は、早期に医師又は薬剤師に相談してください。

LHサージ：排卵の引き金となる黄体形成ホルモンの大量分泌のこと。

排卵日予測検査薬は、このLHサージをとらえることで、排卵日を事前に予測します。

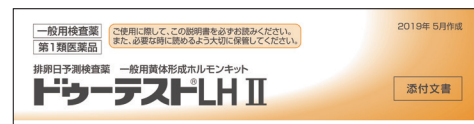
4. 検査は、次の生理(月経)開始予定日の17日前から開始すること。

5. 検査は、毎日ほぼ同じ時間帯にすること。

6. 検査および判定のしかたを説明すること。

7. ご使用に際してチェックシートを活用すること。

本検査薬の適正使用のために、
製品に同梱されている
「添付文書」「ご使用の手引き」
「チェックシート」を
確認の上、ご使用
ください。



添付文書

ご使用前には添付文書をよく読んでご使用ください。

ご使用の手引き

妊娠に関する豆知識や排卵日予測検査薬に関する内容が記されています。



ドゥーテストLHⅡ 排卵日予測検査薬

チェックシート

このシートは、お客様がご使用の際にご自身で確認いただきたいことをお示ししており、ご購入の際にお渡ししているものです。このシートで伺っている内容をご理解の上、ご使用くださいますようお願いいたします。

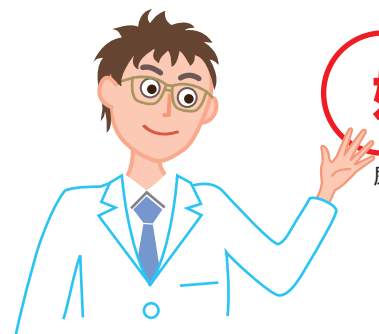
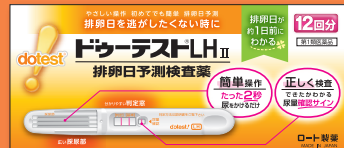
本製品については以下の内容について注意が必要です。正しくご理解の上ご使用くださいますようお願いいたします。以下の内容について、正しく理解している場合は、左の□にチェックをつけてください。

- ☐ 1. 本製品は避妊の目的で使用できないこと。
- ☐ 2. あなたが今、以下の場合にあてはまらないこと。又は、あてはまる場合には医師に相談した上で使用していること。
 - ①不妊治療を受けている。
 - ②適切な時期に性交をもっても1年以上妊娠しない。
 - ③生理周期や月経に異常がある。
- ☐ 3. 検査期間中、陰性が続きLHサージ*が確認できない場合は、早期に医師、薬剤師に相談すること。
(*LHサージとは、排卵の引き金になる黄体形成ホルモンの大量分泌のことです。排卵日予測検査薬は、このLHサージをとらえることで、排卵日を事前に予測します)
- ☐ 4. 次の生理開始予定日の17日前から検査を開始すること。
- ☐ 5. 毎日ほぼ同じ時間帯に検査すること。
- ☐ 6. 検査及び判定のしかた

402047501

チェックシート

ご使用前に、必ずチェックシートの内容を確認してください。



妊娠を望むなら、事前に排卵日を予測することが大切です。

尿中のLH濃度を測定することで簡単に排卵日を予測することができます。

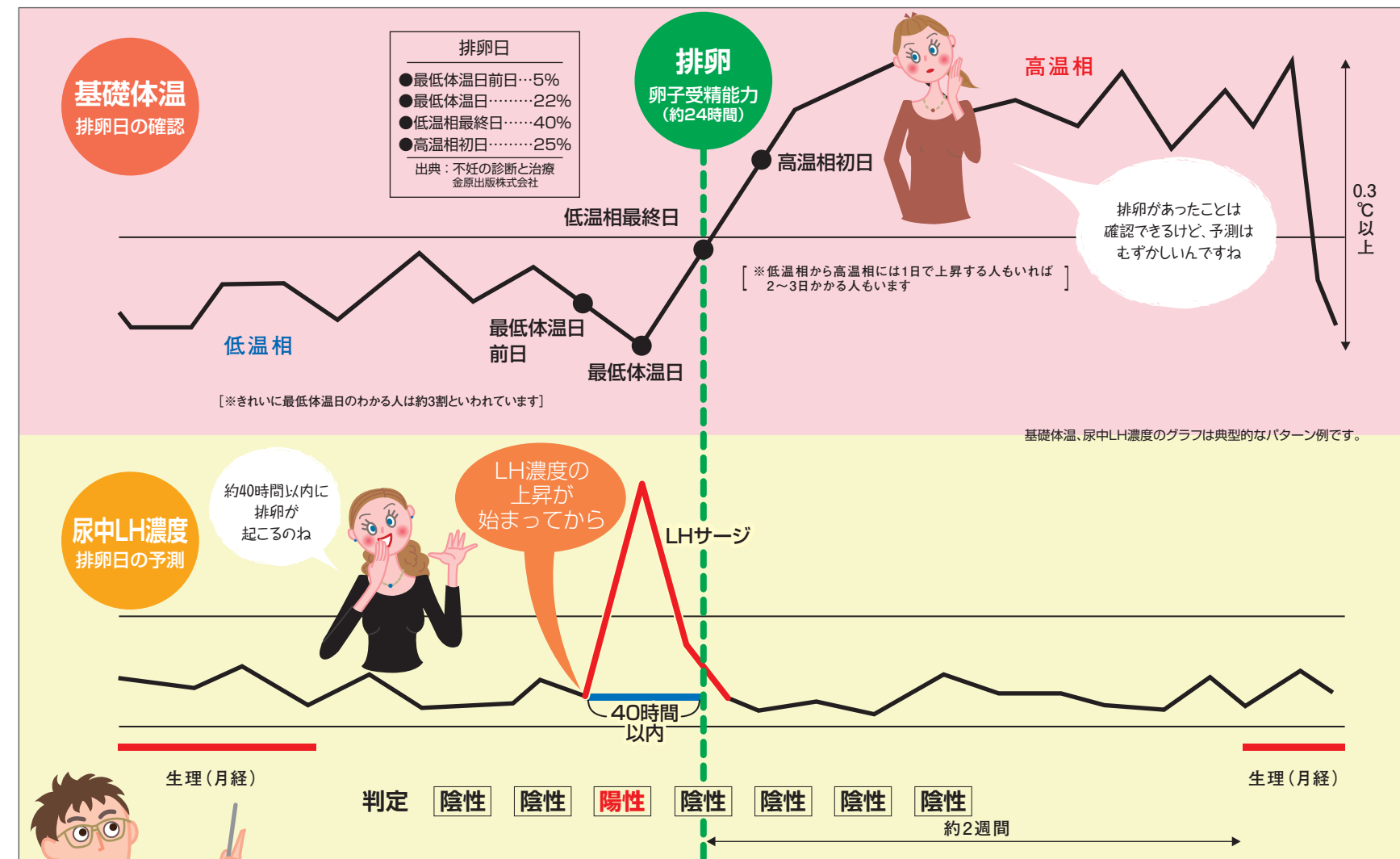
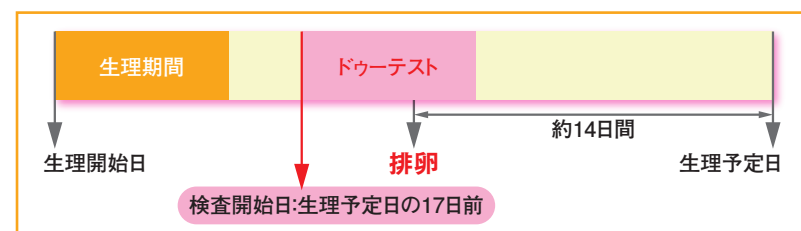
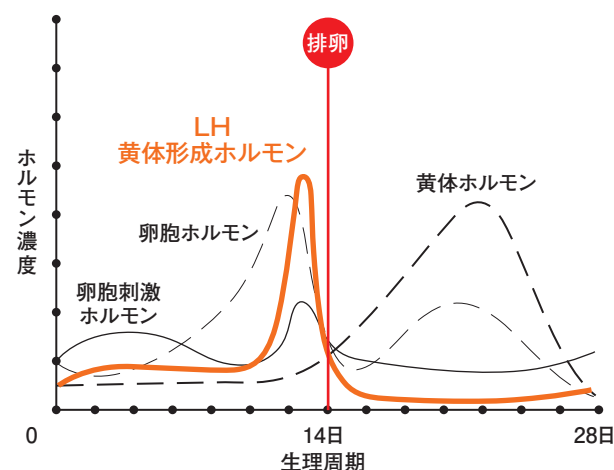
基礎体温とは

排卵日を知るには、基礎体温の測定が一般的です。基礎体温は、朝、目を覚ました時、ふとんに横たわったままはかります。排卵がきちんと行われている女性の典型的なパターンは低温相、高温相の二相性を示します。排卵は低温相の最終日に起こることが多いといわれ、通常は高温相に移行してから**排卵があったことが確認**できるので、基礎体温では排卵を前もって**予測することは難しい**といわれていますが、本品の検査と併せて行うことでより排卵日の予測の補助として有用です。

黄体形成ホルモン LH

(LH : luteinizing hormone)

成熟した卵胞に作用して、卵巣から卵子を排出(排卵)させます。普段から少量分泌しているのですが、卵子が成熟した頃、分泌量が急激に増加し、その急上昇によって排卵がおきます。一般的に、血中および尿中の**LH濃度の上昇が始まってから約40時間以内に排卵がおこる**事が知られています。



妊娠しやすい時期

排卵日当日が最も妊娠しやすい時期になります。

排卵は、約1ヶ月に1回起こります。受精能力があるのは**卵子は排卵後約24時間、精子が射精後約3日間**とされています。排卵日の3日前から排卵日の翌日までの5日間が妊娠しやすい時期といえます。

生理があっても排卵があるとは限りません

思春期、授乳期、更年期などに、排卵を伴わない生理(無排卵性月経)がみられることがあります。規則正しく生理がある方でも時おり無排卵周期となることがあります。